

# 飛 島 ( 柏木山 )

一等三角点シリーズ (飛島編)

大和工営一等三角点の会

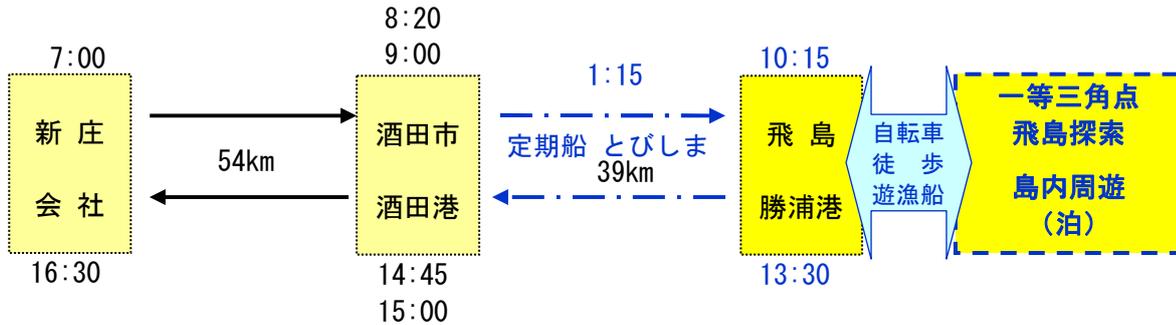
(冠字番号 以 第 12 号 )

成果 X=- 89805. 975m  
Y=-111391. 177m  
標高 57. 90m

世界測地系「測地成果 2011」

点	選 点	明治 28 年 7 月 10 日	選点者	館 潔彦
の	造 標	平成 一 年 一 月 一 日	造標者	—
記	埋 標	明治 31 年 8 月 19 日	埋標者	川又藤四郎
抜	観 測	平成 6 年 10 月 11 日	観測者	安藤 久
粹	(備考) 平成 6 年 8 月 31 日更新、離島地殻変動観測			
所在 山形県酒田市大字飛島字勝浦 乙 1-3 ノ内番地				

登山日 2016 年 8 月 27 日 ( 土 ) ~ 8 月 28 日 ( 日 )



## 一等三角点飛島の島めぐり

私達の「山形県の一等三角点 21 点に登頂

する」活動も、いよいよ飛島だけとなった。飛島は山形県唯一の離島で、酒田港から北西に 39km に位置している。定期船が接岸する勝浦港からは 10 数分で一等三角点飛島 (山名は柏木山) に到達できる距離で充分日帰りできるのだが、最後の一等三角点は泊まりで行うことにしていた。

当然、飛島へは船でしかいけない。そのためここで一つの問題が出てくる。「欠航」という事態である。定期船は波の高さが 3m、風速が 15m を超えると「欠航」になると聞いている。なので、天候が比較的安定するであろう 8 月下旬に出かけることにした。泊まった翌日が「欠航」なんてなったら大変なことになる。ただひたすら好天になることを期待してその日を待つことにした。

### 飛島散策ガイドマップ

飛島は、周囲約 10km の小さな島です。徒歩、自転車を使って約半日で回れるコースを設定してみました。日帰り、宿泊など訪問の日程に合わせて、じっくり島の雰囲気や景色をお楽しみください。

● 灯台 ● 展望台 ● トイレ

**散策コースA** 日本の渚百選・荒島の花と自然を楽しむウォーキングコース

**散策コースB** 渚の霞から見る酒海岸と漁村景観コース (サイクリングコース)

**散策コースC** 巨木の森での“ツリー&バードウォッチング”ネイチャー体験コース

**散策コースD** 大地の雲みを体感するジオ探検コース

● 飛島ウォーキングガイド情報アラカルト

項目	開催時期	開催期間	休憩場所・雨天時避難場所 (過年)
とびしまマリンプラザ【観測】	過年		百谷ダム展望台【中村】
飛島海水浴場【観測】	4月下旬~9月末		八幡崎展望台【志本】
飛島漁港【公園・トイレ】	4月1日~11月30日		八幡崎展望台【中村】
山がっつろ【公園・トイレ】	4月1日~11月30日		飛島海水浴場【中村】
とびしまマリンプラザ【中村】	4月1日~11月30日		飛島海水浴場【中村】
八幡崎公園【トイレ】	4月1日~11月30日		飛島海水浴場【中村】
とびしまマリンプラザ【観測】	過年		飛島海水浴場【中村】
飛島海水浴場【観測】	4月下旬~9月末		飛島海水浴場【中村】
とびしまマリンプラザ【中村】	土日曜日、休日以外		飛島海水浴場【中村】

出典：酒田市定期航路事業所発行「自然体験ガイドマップ飛島」

## 定期船「とびしま」に乗船・・・

**旅の宿予約・・・** とりあえず宿の確保だが、勝浦港に近い港旅館に予約をした。

その際、釣船の予約も合わせてお願いしたら、「この時期はあまり良くないし、お金が勿体ないから辞めた方がいい。」とアドバイスを頂いた。釣りが目的でないから素直に従う。ならばと島巡りの「遊覧船」の予約をお願いした。定期船の飛島出航はPm1:30なのだから、時間は有り余る程ある。何しろ信号も娯楽施設も何にもない。鳥海国定公園の一角を占める自然豊かな島である。島内をくまなく見聞したいものだ。

**飛島訪問の天気は・・・** 当日は3名のゲストを含めて8名の参加となった。Am7:00に新庄を出発し酒田港に向かった。一番心配していた天候は翌日にかけて好天の予報がでていた。心配していた波の高さは、8月27日は「3mのうち2m」で翌日は「1m」との予報である。天候の急変がない限り、安心して飛島に泊まって帰れる見通しがついた。

**3台目の定期船に乗車!?!・・・** 私(筆者)が酒田飛島間の定期船に乗るのは3回目である。最初は昭和63年4月。業務での飛島出張に志願して定期船「とびしま丸」に乗船した。2回目は平成15年、会社から頂いたリフレッシュ休暇で乗った定期船「ニューとびしま」だ。そして今回の定期船「とびしま」、実に3台目の船である。

## 初めての? 海外旅行??・・・

「出航10分前までに乗船してください」との案内が書いてあったが、Am8:30には乗船券を購入し、朝飯を食べていなかった私はオニギリで小腹を満たした。ゲストの高橋さんは船に乗ったことがないらしい。「じゃア、高橋さん、初めての海外旅行だなア」と言ったら、笑いながら「んだナア、」と応じてくれた。

乗船してデッキに上がり酒田本港を見渡していたら、定期船のエンジンの出力が上がって船体が震えだした。それが合図で、係員が船を係留しているロープを次々とほどいていった。定刻のAm9:00、更に出力を上げて水流を岸壁に吐き出して離岸し、汽笛を響かして航路に舵をきり出航した。湾内は波静かであったが、船が作りだした大波が対岸の岸壁に当たり砕け散っていた。

定期船「とびしま」全景

飛島 勝浦港



正面

### 定期船「とびしま」の豆知識

21年間酒田・飛島間を就航した旧船「ニューとびしま」の後を受け、現船「とびしま」は平成22年7月に就航し、酒田・飛島間を1時間15分で結んでいる。

船種船名：汽船 とびしま

航行区域：沿岸区域(限定)

船籍港：山形県酒田市 / 所有者：酒田市

総トン数253トン、最大搭載人員238名。

アルミニウム合金製・双胴船。航行速度20.5ノット。

船内はバリアフリー、全席自由席

※ノットとは・・・速さの単位で1時間に1海里進む速さを示す。

※1海里は?・・・1海里は陸上の場合1マイルともいう。海上で使う1海里は1852mで、地球の緯度1分の距離をあらわしている。

※20.5ノットは?・・・航行速度20.5ノットは車に例えれば、時速約38kmの速さになる。



水平線まで青空広がる・・・

停泊中の定期船に乗り込む・・・

初めての海外旅行で緊張??・・・



定期船発着場

## 激震の大海原を行く !?..

就航6周年の新型定期船はやはり速さが違う。湾内を滑るように航行して見る間に灯台を過ぎて外海に飛び出て行った。やはり今日は波が高いのだろう。波の山に船体が激突しながら進む。(壊れたりしないだろうか?) そんな心配事をしていた。前後左右に揺れる、まさに激震である。デッキに立っているのも大変なので客室に戻ろうとしたが容易に動けない。デッキの移動もフラフラ、階段を下りるのも大変である。ようやく座席に座ったものの、窓の高さまで海面が浮かび上がってくる。これにはただただ堪え忍ぶしかないと覚悟を決めた。

飛島につく10分位前になると揺れも次第に収まってきた。デッキに出ると左に飛島のシンボル? 御積島が見える。やがて定期船は左に大きくカーブして飛島勝浦港に滑り込んで行った。



酒田本港が遠ざかる・・



揺れるデッキに立ちっぱなしで・・



紺碧の海と青い空・・

御積島

飛島

まもなく・・到着・・



飛島

寺島

定期船は左に大きくカーブして・・

## 旅館の女将さんが出迎え・・・

定刻のAm10:15に飛島勝浦港に着岸した。デッキから見おろすと、船を係留するために係員が手際よく作業をしていた。やがて下船を促すアナウンスがあり、船を降りて飛島マリンプラザの前に出た。旅館名を書いた小さな旗を掲げて旅館の女将さんが出迎えてくれていた。私達は女将さんの先導で旅館まで道案内をしていただいた。



勝浦港に到着した・・

飛島マリンプラザ

定期船「とびしま」



しばし旅館でくつろいで・・

港旅館 別館

## 最後の一等三角点探訪・・

### 今宵の頃は 別館の2階・・

今宵の宿は港旅館の道路向かいの別館の2階で、4つの部屋が割り当てられた。東側の窓を開けると目の前は一面の大海原が広がり、山頂に雲がかかった鳥海山がその上に浮かんでいる。

### 第1回目の島めぐり・・

三角点は午後の楽しみにとっておくことにして、さっそく島めぐり出かけることにした。近くの西村食堂で観光用の自転車を借用した。

飛島は周囲約10.2km、南北に伸びる道路延長は約4kmの島である。集落は南から勝浦、中村、法木の3集落ある。勝浦から海岸沿いの道を中村へとペダルを踏んで進んで行く。飛島小中学校を過ぎ、法木に続く山越えの道は勾配がきつく、自転車から降りて押して登った。途中から左手の道に入り高台の農免道路に出た。額から汗が吹き出していた。日陰を選んで休憩し呼吸を整えた。農免道路は南端の海水浴場まで続いていて、しかも下り坂である。一息ついて農免道路を南下して行った。爽快な潮風を浴びて、自転車のブレーキの音を「キッター、キッター」と響かせながら走り、またたく間に小松浜の海水浴場まで下った。



鳥海山

島の間から鳥海山が・・



日陰でひと休み・・



百合島

小松浜海水浴場

海水浴場につきました・・

### 三角点はヤブの中なのか??

西村食堂に自転車を返し、そこで昼食をとる事にした。暑さで喉もカラカラである。もう「車」は運転しないので「とりあえずビール」で乾杯した。

今度は歩いて柏木山の一等三角点を目指した。3年前に聞いた川崎市の子ガールの情報では、凄いヤブで、地元の人に教えてもらってようやく三角点と対面したそうだ。またインターネット情報には、2008年に訪れた方が背丈を超えるイタドリと笹のヤブで探すのが大変だったとの体験談があった。念のため「点の記」と鉋は持参しているが、ヤブの中なのか?それが少し気かりである。



三角点探訪へ出発・・



定期船が遠ざかる・・

## 飛島の三角点とご対面 !!

三角点のある柏木山に向かう。東北電力飛島火力発電所で右に曲がり、農免道路の橋の下から階段を上り橋の袂に出た。海を眺めると、Pm1:30発の定期船が波飛沫をあげ酒田へと走っていった。農免道路を横切り遊歩道を歩いて行くと数分で経緯度観測点の指導標を目にした。点の記では、経緯度観測点から7.3mの処に一等三角点があると記している。近づくに幸運な事に約2mの幅で三角点まで伐採されているではないか。探さずに山形県の最後の一等三角点の柱石とご対面することが出来た。2011年10月の月山から足かけ6年かけて完登できた。夢が実現した瞬間である。



指導標の先はきれいに伐採されていました。



経緯度観測点・  
三角点まで7.3mだア



一等三角点飛島 登頂証拠写真

きれいな御影石です

## 西海岸の島めぐり・・・

三角点をあとにして柏木山展望台で休憩した。しばらく目の前に広がる海とそこに浮かぶ烏帽子群島と御積島を眺めていた。これから飛島の「西海岸の島めぐり」と決め込んだ。赤灯台に立ち寄り賽の河原に下りた。賽の河原は一面こぶし大の丸い石が堆積されている。沖合にある烏帽子群島の六角柱状節理の安山岩が波に揉まれて出来た石が堆積したという。少し波と戯れ海岸遊歩道にでた。潮煙で濡れた磯の海岸を爽快に闊歩して農免道路に出た。その目の前には海づり公園があった。



柏木山展望台から日本海を眺めていました



賽の河原は丸い石がいっぱい・・・  
「石は持ち帰らない」との注意書



荒々しい海岸遊歩道



海岸線を闊歩して・・・



農免道路に出ました・・・

**にわか太公望の釣果は!?...**

「海づり公園」には同行のご一行様？が興味を示した。何しろ全員が山国育ちである。海に囲まれた土地は別世界なのである。かくして「にわか太公望」が誕生した。入口で受付をし、釣り竿とエサを手手に釣り場に立った。見下ろすと海水はコバルトブルーに澄み切っていた。道糸は竿の長さ程しかない。水深はそれよりはるかに深い。水面にエサが着水するや否や、大量の小魚が群れてくる。「にわか太公望」は真剣だ。忘れていた童心の目で、エサと魚の行方を追っていた。



**飛島海づり公園**

にわか太公望が集結した・・・



釣り糸を垂らして・・・



大物ねらいだァ・・・



釣れたぞォ・・・

ハゼ  
ハゼの影



名人対決：フグはエサ取り名人？  
といわれていますがァ

フグ

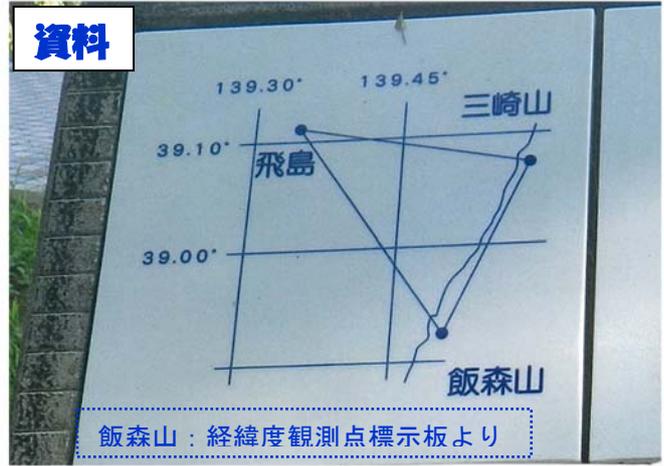
イシダイ

大漁かな??

## 飛島にある基準点・・・

飛島の三角点は、一等三角点飛島のひとつしかない。一等三角点の近くにあった経緯度観測点は飯森山、三崎山と共に、ドイツの気象学者ウェゲナーの大陸移動説を検証するために1928年に設置・観測されたとのことである。

また山形県にある電子基準点は22点だが飛島にも電子基準点がある。場所は勝浦港の「国土地理院飛島験潮所」に併設されている。ちなみに高さの基準となる水準点は、飛島験潮所を含めて6点設置されている。離島である飛島も地理的に正確な位置が確保され、監視されている。



## 完登記念のささやかな宴・・・

「海づり公園」で釣った魚はすべて海に返した。宿に戻り釣りの話をしたら宿の主人が「勿体ない。持ってくれば調理してやったのに・・・」と悔しがってくれた。

夕食はPm6:00と伝えられていた。日本海の夕日を見たかったが、今日の日没時刻はPm6:14（山形）なので諦め、あしたの朝日に期待をした。

夕食は歴史と風格を感じさせる本館で頂いた。刺身三昧の食膳は酒の旨味を引き出す無二の食材である。別館に移動してからも山形県一等三角点完登記念のささやかな宴は続いた。



## 夜明けの島めぐり・・・

### 島の御来光に立ち会う !!

翌朝、飛島での御来光を拝むために Am4:30 頃に起きた。部屋の片隅に寄せられたテーブルには、夕べの「強者ども」の痕跡がありありと残されていた。

飛島での御来光を仰ぎ見るために宿をでた。島の東端の鼻戸崎展望台で日の出を拝むつもりが飛島小中学校の手前で東の空が紅く燃え上がってきた。ここで立ち止まり御来光を待つことにした Am5:08。雲の上から光芒が漏れ、またたく間に神々しい真っ赤な太陽が浮かび上がって来た。



### 朝飯まえの島めぐり !!

御来光を見届けてから、鼻戸崎展望台に登る。8月末とはいえ、高度を増すごとに太陽光線が強くなってくる。展望台から勝浦方向を眺めると、海岸沿いの家並みが輝いて見えた。

朝食は Am7:00 で、Am10:00 からは遊覧船（漁船タイプ）を借り上げての島めぐりを予定している。まだ Am5:30 過ぎで朝飯には早い。法木集落に山越えをして下って行くと、はるか遠くに陸？が見えた。（後で聞いたら男鹿半島だという）

法木から農免道路に上がり、昨日は自転車で通った道を徒歩で海水浴場へと歩いて行った。標高 60m 前後の島の高台が畑になっているようだ。



## 遊覧船の島めぐり・・・

### 船が出るぞ～おォ!?

遊覧船での島めぐりはAm10:00と聞いていたので、朝食後は本館前のイスに腰を下ろしたり、部屋で横になったりして寛いでいた。すると旅館のご主人が慌ただしく部屋に来て曰く「船頭さんがアワビ漁から返ってきたので、すぐに遊覧船（漁船）まで行って!!」と伝えた。何とも急な、何とも大雑把な予定だろうと思いつつ、急いで準備をした。別館の下を抜けて船着き場に出るのだが、背が高すぎて天井の梁に額をしたたかぶつけた人もいた。



朝飯終えてひと休み・・・

### 急いで乗り込みと出航デス!?

船着き場では船のエンジンが音を立てて唸り、船頭の奥様が係留ロープを係留柱に巻き付けてロープを握って待っていた。全員が乗船した処係留ロープが解かれ、船は船尾を先頭にして進み、勝浦港から外海に滑り出して行った。



波の高さは1m?、結構揺れるんです・・・



外海まではバックで航行デス・・・

### 勝浦港から外海へ!?

外海でると船首を烏帽子群島に向けて出力を上げた。今日の波の高さは1mと予報があったが、相当揺れる。「船に弱い人は真ん中に座って!!」と船頭さんの声掛けがあった。泳げない私はこの頑強な船頭さんに全幅の信頼を託す事にした。



烏帽子群島と御積島の周遊・・・



島には全部名前がついているそうだが・・・



烏帽子群島を周遊する・・・



船に弱い人は・座ってエ・・・



撮影スポットで停船してくれた・・・



御積島

飛島標高ベスト3  
 御積島 72m  
 高森山 68m  
 柏木山 58m

飛島の最高峰、実は御積島だって・・・



御積島を一周したら正面には鳥海山・・・

## 飛島：しこたま郡、ほがらか村・・・

いよいよ飛島を去る時が近づいた。大介クンのリクエストでラーメンを食べに行く。春先に業務で来た時に食べて旨かったとお奨めの弁。店内をキョロキョロと見回すと面白ポスターが飛び込んできた。含蓄に富む言葉だ。まさに「飛島」そのものだ。旅館の方や船頭さん、食堂や売店の人々、とてもアットホームに感じた。そして風光明媚な島めぐりは「山形県一等三角点めぐり」の最終章にふさわしい有意義な旅であった。



食堂を出て定期船に向かう・・・



食堂で発見した面白ポスター・・・